

掛川市帯状疱疹任意予防接種費用一部助成について

1 帯状疱疹について

原因	水痘（水ぼうそう）感染後、生涯に渡って神経に潜伏感染している水痘ウイルスが原因で、加齢、疲労、免疫抑制状態などの免疫力低下によりウイルスが再び活性化して発症します。
罹患年齢	加齢がリスクとされ、50歳代以降で罹患率が高くなり、ピークは70歳代です。
主な症状	ウイルスが感染した神経領域の皮膚の痛みと赤い発疹で、体の片側に帯状に現れます。
合併症	皮膚水疱が治癒した後に疼痛（痛み）が残り、数ヶ月から数年持続する「帯状疱疹後神経痛」等があり、帯状疱疹患者のうち約20%程度が発症し、高齢者になるほど高いとされています。特異的な治療法はなく、対症的に薬物療法などが行われます。

2 帯状疱疹ワクチンの特徴について

	乾燥弱毒生水痘ワクチン (製品名：ビケン)	乾燥組換え帯状疱疹ワクチン (製品名：シングリックス筋注用)
種類	生ワクチン	不活化ワクチン
接種方法	皮下注射	筋肉内注射
接種回数	1回	2回 (2回目は1回目から2か月後に接種)
帯状疱疹 発症予防効果	50～59歳 69.8% 60～69歳 64% 70～79歳 41% 80歳以上 18%	50～59歳 96.6% 60～69歳 97.4% 70～79歳 90.0% 80歳以上 89.1%
帯状疱疹後 神経痛予防効果	60歳以上 66.5%軽減	50歳以上 100%軽減 70歳以上 85.5%軽減
効果持続	5年間程度	10年以上 (11年目以降は延長試験中)
頻度10% 以上の副反応	発赤(44.0%)、かゆみ(27.4%)、 熱感(18.5%)、腫れ(17.0%)、 痛み(14.7%)、しこり(13.5%)	痛み(79.1%)、発赤(37.4%)、 腫れ(24.2%)、胃腸症状(12.0%)、 頭痛(28.3%)、筋肉痛(36.9%)、 疲労(34.6%)、発熱(16.7%)
重大な副反応	アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎(いずれも頻度不明)	ショック、アナフィラキシー(いずれも頻度不明)
注意事項	接種できない方 免疫機能疾患のある方、 免疫抑制をきたす治療を受けている方	注意を要する方 血小板減少症や凝固障害のある方、 抗凝固療法を行っている方
接種費用	8,000円程度	1回当たり20,000円～25,000円程度

出典：厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会小委員会資料、乾燥弱毒性水痘ワクチン「ビケン」添付文書、乾燥組換え帯状疱疹ワクチン「シングリックス筋注用」添付文書、Zostavax SPS・STPS・LTPS 試験(50歳代はZEST試験)、Shingrix ZOSTER-006・022・049 試験

3 帯状疱疹任意予防接種の費用一部助成について

対象者	接種当日掛川市に住民登録がある50歳以上で、帯状疱疹任意予防接種の費用一部助成を一度も受けたことがない方。 ※助成は一人につきいずれか1種類のワクチンに限ります。	
助成金額と 助成回数	3,000円 1回	1回当たり 5,000円 上限2回
	※接種費用は医療機関により異なります。 接種費用から助成金額を引いた差額を医療機関へお支払いください。	
申請方法	掛川市健康医療課へ事前申請(窓口申請もしくは電子申請)	
接種予約	どちらのワクチンを接種するか決めた上で、医療機関へ予約をしてください。接種時は、お薬手帳を持参してください。	